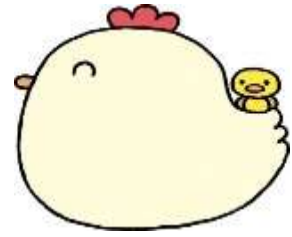


高田病後児保育所「ぬくみ」 掲示板



【9月のテーマ】 中耳炎

高田病後児保育所スタッフより

今月のテーマは『急性中耳炎』についてです。子どもはかぜなどをきっかけに起こることが多く、「風邪ぎみだなあと思ってかかりつけ医を受診したら中耳炎だった」というケースも少なくありません。

🌸『原因・症状』🌸

鼓膜の奥の“中耳”と呼ばれる部分に細菌やウイルスが入り腫れを引き起こす病気です。

突然子どもが「耳が痛い」と訴えたり、耳に手を当てたり、泣き止まないときは急性中耳炎を起こしている可能性が高いです。高熱が続いたり、耳だれが出ることもあります。

👁『治療』👁

中耳炎は子どもの病気としては非常に一般的なので、まずはかかりつけ医の小児科に相談してみることをおすすめします。治療は、鼓膜の状況から重症度を判定して決めていくので必ずしも抗菌薬や鼓膜切開が必要になるとは限りません。大事なことは、数日ごとに鼓膜を観察してもらうこと、処方された薬を自己判断でやめないことです。適切な治療をしないと、治るまでに時間がかかったり、何回も繰り返してしまったり、ときには重症化してしまうこともあります。『滲出中耳炎』という鼓膜の奥に液体がたまりっぱなしになる病気に移行してしまうこともあります。途中であきらめずに、完全に治るまで通院しましょう。

🏠『登園・登校について』🏠

熱や痛みがなければ、登園・登校してもかまいません。しかし無理をすると症状が再発したり、悪化することもあるので、子どもの様子を見て判断しましょう。プールの水は塩素消毒されているので耳や鼻の鼓膜を刺激してしまう可能性があります。熱や痛みが治まってからもプールは主治医の許可をもらってからにしましょう。



